

葛藤状態にある保育場面への対処について

その2. 対処の仕方に影響を与えたものを中心として

萩原英敏

(2008年9月24日受理)

要約

将来保育士になろうとする学生が、架空場面として設定された葛藤状況において、対処する時、その判断に影響を与えるものが、どんなものなのかを明らかにする為、首都圏の短期大学生、1年生137人、2年生151人に対して、アンケート調査を行ったところ、以下の様な結果が明らかになった。

1. 対処で大きく影響を与えたのは、1年生では「自分の経験」「今まで接した先生の考え」「親の考え」「短大の講義」であり、2年生では「今まで接した先生の考え」「自分の経験」「短大の講義」「教科書などの本を読んで」であった。
2. 対処で大きく影響を与えたものの、学年差をみると、1%有意の差が認められた。これは、1年生時に多かった「親の考え」が2年生時では減少し、「短大の講義」「教科書などの本を読んで」「園の方針」などをあげる者の数が増加した為だと考えられた。すなわち、授業や実習などでの影響が認められた。

キーワード 葛藤、保育場面、対処、影響、学年差

I はじめに

乳幼児の養育を担う事になる保育士は、養育する場面において、乳幼児の気持ちに同一化しようとする気持ち—繋合希求性（他者と気持ちを繋ぎ合わせようとする気持ち）¹⁾と、親・大人としての役割を持つようとする気持ち—自己充実欲求（自分である事を志向する気持ち）の葛藤状況にさらされている。その葛藤状況にある10（A～J）の架空場面において、（1）どの様に対処しようとし、またその対処する時の葛藤状況が、精神的にどの程度のものなのか。（2）葛藤場面により、対処傾向がどのように異なるか。（3）実習経験のある2年生と、未経験の1年生では、対処や葛藤状況での精神面で、どの様な差があるか、以上の3点については、すでに明らかにした。²⁾

1

そこで今回は、この葛藤状況において、対処の仕方を決める上で、大きく影響をあたえたものはどんなものであるのかを明らかにすることを、研究の第1目標とした。そして、学習や実習の経験の深い2年生と、これらの経験の浅い1年生で、影響を与えるものに、どんな違いがあるのかを明らかにすることを、研究の第2目標とした。

Ⅱ 方法

1. 対象者

首都圏の保育士志望の女子学生、1、2年生

1年生……137人

2年生……151人

2. 調査内容

2008年度の調査内容²⁾と同じものである。それは、保育場面で、保育士が葛藤状況におちいりやすい架空場面10 (A～J) を筆者が設定したものである。(資料1)

今回は以前の調査内容²⁾に加えて、(質問：その対処の仕方を決める上で、大きく影響を与えたものは、どんなものか)を行ない、(回答欄：・親の考え ・テレビ、新聞 ・短大の講義 ・友達の考え ・今まで接した先生の考え ・自分の経験 ・園の方針 ・教科書などの本をよんで ・その他のなかから3つ選ぶ)という事をした。

3. 調査時期

2006年4月～2007年5月

4. 分析方法

SPSSによる単純集計 カイ二乗検定

Ⅲ 結果及び考察

1. 対処の仕方を決める上で、大きく影響を与えたもの

i 1年生

1年生の結果をみると、図1、表1の様になった。全体傾向を表している図1から見ると、一番多いのが、「自分の経験」(24.7%)、二番目が、「今まで接した先生の考え」(22.7%)、三番目が、「親の考え」(13.3%)、四番目が、「短大の講義」(11.8%)の順になっており、一方少ない方では、「友達の考え」(2.1%)、「園の方針」(2.6%)などがあがっている。

また場面別に表している表1を見ると、一、二番の「自分の経験」「今まで接

した先生の考え」は、ほとんどすべての場面で上位二位までにあげられている。しかし三位にあげられているのは、場面によって、「親の考え」、「短大の講義」のどちらかになっている。

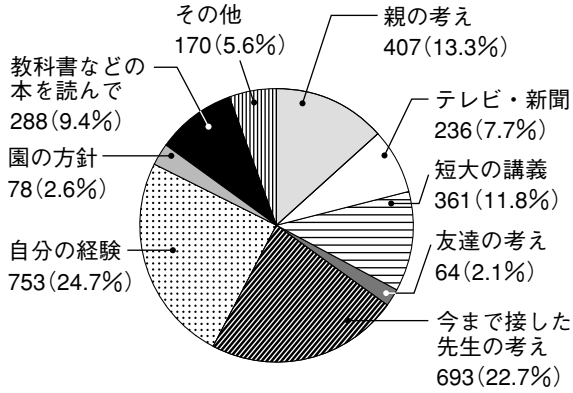


図1 対処の仕方を決める上で、大きく影響を与えたもの - 1年生 -

表1 1年生の場面別 対処の仕方に影響を与えたもの (人数 ○内の数字は同じ対応の多い順)

A 場面

影響源 \ 対処	親の考え	テレビ新聞	短大の講義	友達の考え	接した先生の考え	自分の経験	園の方針	教科書などの本	その他
緊急性	4	5	10 ^③	0	15 ^②	18 ^①	0	5	1
葛藤状況	18	4	27 ^③	4	30 ^①	25 ^②	6	9	8
自己充足欲求	15 ^③	13	10	4	27 ^②	35 ^①	5	9	11
計	37	22	47	8	72	78	11	23	20

B 場面

影響源 \ 対処	親の考え	テレビ新聞	短大の講義	友達の考え	接した先生の考え	自分の経験	園の方針	教科書などの本	その他
緊急性	33 ^③	8	20	4	38 ^②	49 ^①	6	11	15
葛藤状況	15 ^③	8	14	2	22 ^②	25 ^①	1	11	2
自己充足欲求	3	5 ^③	3	1	6 ^②	10 ^①	2	3	3
計	51	21	37	7	66	84	9	25	20

C場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	14 ^③	7	14 ^③	3	19 ^②	22 ^①	2	14 ^③	5
葛藤 状況	7 ^③	4	7 ^③	1	8 ^②	10 ^①	3	4	3
自己 充足欲求	11 ^③	8	10	4	33 ^②	36 ^①	2	8	4
計	32	19	31	8	60	68	7	26	12

D場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	22 ^③	10	14	2	37 ^②	45 ^①	0	12	12
葛藤 状況	15 ^③	9	13	4	26 ^②	34 ^①	1	11	5
自己 充足欲求	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	37	19	27	6	63	79	1	23	18

E場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	4 ^②	1	3 ^③	0	3 ^③	9 ^①	0	3 ^③	1
葛藤 状況	27	14	28 ^③	4	51 ^②	61 ^①	2	23	12
自己 充足欲求	11 ^③	7	5	4	12 ^②	17 ^①	3	7	4
計	42	22	36	8	66	87	5	33	17

F場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	3	2	4 ^③	1	9 ^①	8 ^②	2	4 ^③	1
葛藤 状況	16 ^③	10	15	2	33 ^①	28 ^②	2	16 ^③	5
自己 充足欲求	26 ^③	8	19	3	34 ^②	36 ^①	2	12	11
計	45	20	38	6	76	72	6	32	17

G 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	15	14	30 ^①	0	26 ^②	25 ^③	3	19	4
葛藤 状況	13 ^②	9	4	0	12 ^③	14 ^①	2	3	5
自己 充足欲求	13	13	15 ^③	5	30 ^①	20 ^②	3	10	6
計	41	36	49	5	68	59	8	32	15

H 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	2	3	4 ^③	0	8 ^①	7 ^②	1	2	1
葛藤 状況	10 ^③	5	8	1	14 ^②	22 ^①	0	6	4
自己 充足欲求	25 ^③	19	24	5	50 ^②	51 ^①	8	14	12
計	37	27	36	6	72	80	9	22	17

I 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	12 ^③	7	10	1	23 ^②	24 ^①	1	12	7
葛藤 状況	9	4	15 ^③	1	21 ^①	20 ^②	2	8	4
自己 充足欲求	24 ^③	12	8	4	29 ^②	31 ^①	4	14	6
計	45	23	33	6	73	75	7	34	17

J 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	7 ^③	4	6	0	14 ^①	11 ^②	0	7 ^③	1
葛藤 状況	26 ^③	19	16	3	55 ^①	43 ^②	14	26	12
自己 充足欲求	7 ^③	4	5	1	8 ^②	17 ^①	1	5	4
計	40	27	27	4	77	71	15	38	17

ii 2年生

2年生の結果をみると、図2、表2の様になった。まず図2からみると、一番多いのが、「今まで接した先生の考え」(28.0%)、二番目が、「自分の経験」(26.0%)、三番目が、「短大の講義」(17.1%)、四番目が、「教科書などの本を読んで」(8.2%)の順になっており、一方少ない方では、「友達の考え」(1.9%)、「テレビ・新聞」(3.1%)、「親の考え」(5.5%)などがあがっている。

また場面別の表2を見ると、ほとんど全部の場面で、上位三位まで、「今まで接した先生の考え」「自分の経験」「短大の講義」があがっている。

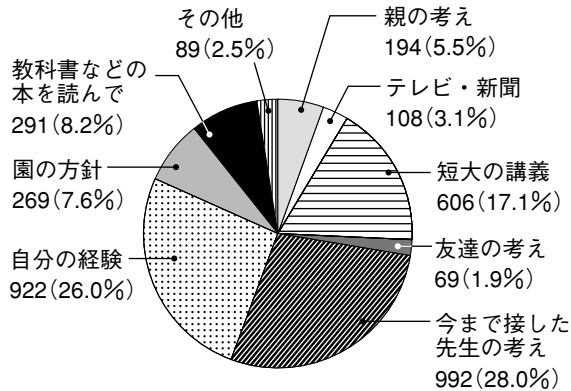


図2 対処の仕方を決める上で、大きく影響を与えたもの - 2年生 -

表2 2年生の場面別 対処の仕方に影響を与えたもの (人数 ○内の数字は同じ対応の多い順)

A 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の 方針	教科書 などの本	その他
緊合 希求性	6	1	10 ③	1	17 ①	15 ②	6	4	5
葛藤 状況	9	3	27 ③	3	43 ①	38 ②	11	13	3
自己 充足欲求	7	2	22 ③	2	36 ①	36 ①	21	7	8
計	22	6	59	6	96	89	38	24	16

B 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	9	3	28 ^③	3	45 ^②	46 ^①	8	14	2
葛藤 状況	2	3	35 ^③	5	53 ^①	46 ^②	14	9	6
自己 充足欲求	1	1	4 ^③	2	11 ^①	10 ^②	1	1	0
計	12	7	67	10	109	102	23	24	8

C 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	3	3	26 ^③	2	34 ^②	39 ^①	4	14	1
葛藤 状況	7	4	12 ^③	4	20 ^①	17 ^②	5	4	1
自己 充足欲求	7	4	22 ^③	2	43 ^①	41 ^②	19	9	6
計	17	11	60	8	97	97	28	27	8

D 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	12	2	37 ^③	3	53 ^②	64 ^①	11	20	4
葛藤 状況	4	8	25 ^③	1	48 ^①	32 ^②	10	15	2
自己 充足欲求	0	1	1	0	1	0	0	0	0
計	16	11	63	4	102	96	21	35	6

E 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	2	3	10 ^③	1	13 ^②	16 ^①	3	5	0
葛藤 状況	13	5	46 ^③	3	79 ^①	75 ^②	9	21	8
自己 充足欲求	5	0	6 ^③	0	11 ^②	12 ^①	1	4	1
計	20	8	62	4	103	103	13	30	9

F 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	1	0	2	2	0	1	0	2	0
葛藤 状況	11	5	38 ^③	4	55 ^①	47 ^②	12	17	4
自己 充足欲求	7	1	18	4	48 ^①	48 ^①	22 ^③	8	2
計	19	6	58	10	103	96	34	27	6

G 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	7	6	20 ^③	2	30 ^①	22 ^②	8	11	1
葛藤 状況	5	11	26 ^②	2	30 ^①	20 ^②	11	10	7
自己 充足欲求	6	5	20 ^③	1	35 ^①	33 ^②	6	10	1
計	18	22	66	5	95	75	25	31	9

H 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	3	3	6 ^③	0	10 ^①	10 ^①	3	2	2
葛藤 状況	10	4	30 ^③	2	41 ^①	38 ^②	14	18	3
自己 充足欲求	9	6	26 ^③	4	42 ^②	43 ^①	12	11	4
計	22	13	62	6	93	91	29	31	9

I 場面

影響を与えたもの 対処	親の 考え	テレビ 新聞	短大の 講義	友達の 考え	接した先 生の考え	自分の 経験	園の方 針	教科書 などの本	その他
繋合 希求性	14	4	17 ^③	2	34 ^①	29 ^②	5	4	2
葛藤 状況	7	7	19 ^③	4	27 ^①	20 ^②	0	16	0
自己 充足欲求	11	2	19 ^③	5	33 ^②	45 ^①	10	10	3
計	32	13	55	11	94	94	15	30	5

J 場面

影響を与えたもの 対 処	親の 考え	テレビ 新 聞	短大の 講 義	友達 の 考 え	接した先 生の考 え	自分 の 経 験	園の 方 針	教 科 書 な どの 本	その他
繫合 希求性	0	0	6 ③	1	10 ①	8 ②	2	4	0
葛藤 状 況	14	9	43 ③	3	77 ①	59 ②	36	25	11
自 己 充足欲求	2	2	5 ③	1	13 ①	12 ②	5	3	2
計	16	11	54	5	100	79	43	32	13

2. 影響を与えたものの学年差

表3の結果が示す様に、1%の有意差を持って、学年差がある事が明らかになった。具体的には、1年生時に三番目に多かった、「親の考え」が、2年生時では、少ない方にあがっている。また、1年生時では四番目だった「短大の講義」が三番目に、またそれ程多くなかった、「教科書などの本を読んで」が、2年生時では四番目にあがっている。さらに、1年生時では少ない方にあげられていた、「園の方針」をあげる者の数が増加している。

以上の事から、1年生時で多かった「親の考え」より、1年間の授業を通して、「短大の講義」や「教科書などの本を読んで」に影響される様になってきた事や、1年時の実習を通して、「園の方針」が保育の実際の場面で影響している事などを、学生等は学んでいる事が明らかになった。

表3 影響を与えたものの学年差

学 年	影響を与えたもの 親の 考 え	テレビ 新 聞	短大の 講 義	友達 の 考 え	接した先 生の考 え	自分 の 経 験	園の 方 針	教 科 書 な どの 本	その他	カイ 2 乗
1 年	407	236	361	64	693	753	78	288	170	**
2 年	194	108	606	69	992	922	269	291	89	

**…1%有意

IV まとめ

将来保育士になろうとする学生が、保育の架空場面において、子どもの気持ちに同一化しようとする繫合希求性、また逆に親・大人としての役割を持つようとする自己充実欲求の、どちらか、または双方の立場をとるか、その対処の仕方に、大きく影響を与えたものは、何だったかを明らかにする事をまず第1に、次に学年差があるかどうか

を第2に、前回の研究²⁾で使った同じアンケート調査を行なったところ、以下の事が明らかになった。

1. 対処の仕方に、大きく影響を与えたものは、1年生では、「自分の経験」「今まで接した先生の考え」「親の考え」「短大の講義」であった。また2年生では、「今まで接した先生の考え」「自分の経験」「短大の講義」「教科書などの本を読んで」であった。
2. 対処の仕方に、あまり影響を与えなかったのは、1年生では、「友達の考え」「園の方針」であった。また2年生は、「友達の考え」「テレビ・新聞」「親の考え」であった。
3. 対処の仕方に、影響を与えたものの、学年差をみても、1%の有意差が認められた。これは、1年生時に多かった「親の考え」が2年生時では減少し、「短大の講義」「教科書などの本を読んで」「園の方針」などが増加している為である。すなわち、2年生は授業や実習などの影響により、対処の仕方を選ぶようになってきているという事が、明らかになった。

参考文献

- 1) 鯨岡峻『両義性の発達心理学』ミネルヴァ書房, 1998, p.8-15.
- 2) 萩原英敏「葛藤状態にある保育場面への対処について」淑徳短期大学研究紀要第47号 2008, p.63-89.

なお、調査に当たり、本学の松本教授、長谷部准教授に、御協力を得ました。この好意に対して、紙面をもってお礼申し上げます。

資料1

「保育場面での扱いについて」のアンケート

以下の文は、あなたが将来保育者として、子どもに接する時、出会うであろう場面を、想定したものです。

そこで、あなたが各場面に対して

(1) どう対処するか

(2) その対処の仕方を決める上で、大きく影響を与えたものは、どんなものの以上2点について、尋ねることにしました。そこで将来これらの場面に出会うと仮定し、その時だったらこんな考えをするだろうという今の思いを、答えて下さい。

場面A 給食の時間になり、他の子はやめたのに、3歳児のA男は、まだ絵を描き続けている。そこで担任が「Aちゃんご飯よ、皆待ってるよ、先に食べていい」と尋ねたが、A男は「ダメだ、まだ食べたらいかん」と怒る。A男は今まで外遊び中心で、お絵かきに興味を示さなかったが、何が気に入ったか、初めてお絵かきに集中する姿がみられた。保育者として、こんな機会は大事にしたいとも思う。

(1) 対処の仕方は？(どれか1つに丸を)

- ・ 他児を待たせているので、お絵かきをやめさせ、皆といっしょに食事をさせる。
- ・ せっかくお絵かきに興味を持ったのだから、他の子は食事をさせるが、A男だけは、最後まで書くのを認める。
- ・ もう少しやらせれば、お絵かきはやめるだろうと、皆の食事の時間を少し遅らせるが、あまり遅い場合は、皆には食事をとらせる。

(2) この決断に影響を与えたものは？(大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面B 4歳になったB子は、いつも集団では、リーダー格で、周りを自分の思い通りに動かしている。この日もお母さんゴッコで、自分が母親役になり、かわいいエプロンを身に着けようとした。ところがいつもB子に従っているb子が、そのかわいいエプロンを自分も身に着けたいという気持ちを抑えきれなくなった為か「Bちゃんばかりズルイ、私も着たい」と言って、取ろうとする。だがB子は「私が先に取ったの、後でbちゃんにお母さんの役をやらせるから、今

は赤ちゃん役でがまんして」と言って、絶対そのエプロンを渡そうとしない。

(1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ b子がはじめてB子に自己主張したという事に注目し、「いつもBちゃんがお母さん役やってるから、たまにはbちゃんにやらせたら」と言う。
- ・ B子もb子も、互いの主張には、それなりの正当性があるので、保育者は互いの話をきくだけで、解決は2人にまかせる。
- ・ 最初にエプロンを取ったのはB子だし、B子も後でお母さん役をやらせると言っているの、b子にがまんさせるようにする。

(2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面C 5歳児C男は、自然物を相手にする子で、その為他の仲間とはあまり接点を持ってない。今日は色んな石(水晶 めのうなど)を持ってきて、その石について詳しく保育者に説明するが、仲間はいったん話しを聞こうとするが、すぐすと離れていく。保育者はC男がその石を通して、仲間との交流が出来ればと、C男の話をよく聞いてあげようとするが、それをやり続けると、他の子がやっている、共同制作の指導に支障をきたしてしまう。

(1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ 他の子がやっている共同制作の指導に支障をきたすので、C男が話す事に興味を失わない程度に、聞いてあげる。
- ・ 石の話は後で十分に聞くむね、C男に伝え、なるべくC男も共同制作に参加するよう働きかける。
- ・ C男が興味あるものについて、保育者は得意気に話すその気持ちを、大切に受け止め、なるべく話しを聞こうとする。

(2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

12

場面D 6歳児になるD子とd男は、園内で飼育しているウサギの世話係になった。D子はエサを与える役目をやりたいと申し出、それをやる事になったが、d男は何をやっているのかわからず、D子の後をついてまわるだけだった。D子はそんなd男に園舎の掃除をしてもらいたく、「d男は掃除をしなさい」と言うが、d男もエサをやりたい気持ちもあり、掃除ばかりは嫌いそうである。この

ままでは、2人の世話係はうまくいきそうにないと、保育者には思われる。

- (1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)
- ・ D子が役を決めたのに、d男が役を決められない事が原因なので、d男が役を決められる様、指導する。
 - ・ D子がd男の意向を聞く前に、勝手に自分の役を決めてしまったのが原因なので、もう1度話しあわせ、役割を決めさせる。
 - ・ D子にd男もエサを与えたいのだという気持ちを、保育者がD子に伝え、D子に時々d男にえさを与える機会を持たせる様、指導する。
- (2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)
- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
 - ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
 - ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面E 5歳児のE子らは、砂場で夢中にトンネルをほったり、川の流れを作ったりしている。しかし彼女らのイメージにそった風景がそろそろ完成に近づいた頃、E子は夢中になりすぎた為か、身体のバランスを無くしてしまい、ドスンと尻もちをつき、完成に近づいたものが、一瞬のうちに壊れてしまった。他の者はE子の壊した事を非難したが、E子は「自分はわざとしたのではない」と、保育者に自分に非がない事を訴える。

- (1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)
- ・ E子はわざとではなくても、壊した事は事実なので、一応他の者に謝った方がいいと指導する。
 - ・ E子はわざとしたのではないから、他の者が批判するのは良くないと、他の者が納得するようにする。
 - ・ E子と他の子のやりとりを見守り、もう一度皆で作り直す気持ちが出る様、保育者が力づける。
- (2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)
- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
 - ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
 - ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

13

場面F 3歳児のF子・もう片付けの時間が来て、他の者はおしまいにしているのに、自分だけは黙々と粘土遊びをやっている。保育者が「もう片付けの時間よ」と、声をかけるが、F子は「いや、私は赤ちゃんじゃない、自分の事は自分で決めるの」と言いはって、やめようとしなない。

- (1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ 自分の事は自分で決めるという自己主張がなされている事を尊重し、F子が納得するまで、粘土遊びをさせる。
- ・ F子がやりたい気持ちは理解するが、他の者もその気持ちを持ちながら、やめている訳なので、ある程度の延長は認めても、それ以上は中止させる。
- ・ 片付けの時間が来て、他の者もやめている事を理解させ、途中でも粘土遊びはやめさせる。

(2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面G 5歳児のG男は乱暴で、その暴力的行為に対して、他の者は迷惑し、嫌がっている。G男のこのような行為は、家庭の夫婦仲の悪さが原因と考えられており、園での指導のみでは、なかなかこの行為は収まりそうにないと、保育者は考えている。

(1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ G男の暴力的行為で、他の者が迷惑を受けているので、「～ちゃんが嫌がっているでしょう」と、そのつど注意する。
- ・ 家庭で十分受けとめてもらえない事が、これらの暴力的行為の原因と考え、注意する事を極力ひかえ、暖かく接する。
- ・ G男の暴力的行為が家庭の夫婦仲の問題である事を、親に理解させながら、園では、かなりひどい行為の時だけ、注意する事にする。

(2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面H 子ども達が小高い山に登っている。いつも元気のよい6歳児のH子は「あの坂を走って下ろうよ」と、他の者に提案する。この提案に他の者も「いいよ」といって賛同するが、保育者は少し坂が急なので、だれかケガしないか心配である。

(1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ 少し危険でも、子どもの挑戦する気持ちを大事に受け止め、はげましてやらせる。
- ・ 「走って下るのに自信のある子だけ走らせ、少し自信のない子は歩いて下りてもいいようにしよう」と、保育者が提案し、なるべくケガのない様に配慮する。

- ・ ケガをさせないのが、保育の基本なので、ケガの確率の少ない、もう少し坂のなだらかな方を、走る様指導する。

(2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面I 5歳になるI男は、家で遊んでいたビー玉を園に持ってきて、他の者に見せている。そのビー玉はいろんな色の模様をしており美しい。そのビー玉を使いI男らは遊んでいたが、終りに自分のポケットに収める時、I男は一個ビー玉が足りない事に気付いた。I男はだれかが盗んだと訴えたが、その時はわからなかった。だが翌日、I男が保育者のところへ、無くなったビー玉を持ってきて、「あまり美しかったので、つい手が出て1個盗んでしまった。しかし親から返しなさいと言われ、持ってきた」と、ビー玉を盗んだ事を明らかにした。

(1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ その美しさに感動し、ちょっと手にしてみたいという気持ちを理解し、I男にビー玉を返させるようにする。
- ・ 他の者のものを盗む事は悪いことなので、注意した後、I男にビー玉を返させ、あやまらせる。
- ・ 他の者のものを盗む事は悪いが、美しさに感動する気持ちはすばらしい旨を、保育者はI男に伝える。

(2) この決断に影響を与えたものは？ (大きいものを3つ選び、丸を)

- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
- ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
- ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()

場面J 3歳児のJ子は、前年まで担当だった保育者が今年に変更になった。しかしその新しい体制になってもう2カ月たった今でも、J子は元の担当者のいるクラスに入り、いっしょに活動しようとする。他の者が「Jちゃんは、他のクラスでしょう」といっても、一向に聞こうとしない。

(1) 対処の仕方は？ (どれか1つに丸を)

- ・ 他の子が「よそのクラスの子」といっている事を考慮し、本来のクラスにもどるよう指導する。
- ・ J子が元の担当者との関係を切りたくないという気持ちを、強く持っている事情を考慮し、本人が納得するまで、今の状態で活動する事を認める。
- ・ J子が元の担当者との関係を切りたくないという気持ちを、強く持っている事情を考慮し、時にはいいが、基本的には本来のクラスですごすよう、

指導する。

- (2) この決断に影響を与えたものは？(大きいものを3つ選び、丸を)
- ・ 親の考え ・ テレビ、新聞 ・ 短大の講義 ・ 友達の考え
 - ・ 今まで接した先生の考え ・ 自分の経験 ・ 園の方針
 - ・ 教科書など本をよんで ・ その他 ()